

【総合基礎科目領域/共通基礎科目群】

科目名	ナンバリング	区分(必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等
生命倫理		選択	2	1	後期
担当教員	研究室	電子メール ID	オフィスアワー		
松崎 昇	教員控室	kango	Teams で相談質問等随時受付		
授業の目的・概要	<p>1. 問い 中絶に際し胎児の産まれ生きていく権利は？ 生体クローンって人間はダメなの？ 安楽死ってなんでいけないの？</p> <p>2. 目的 本科目は、学生が現代社会の応用倫理的諸問題、とりわけ生命倫理上の諸問題に積極的に関心を持ち、自分なりに調査・考察・発表・議論できるようになることを目的とする。特に、看護師を目指す皆さんは、将来、生命倫理的な諸問題に真正面からぶつかることになる。そこに正解はない。本科目で、皆さんが、看護師として行動する際の倫理的な構えを体得することができよう。大方の受講を強く勧める。</p> <p>3. 概要 ①人間論、および②倫理学という基本を踏まえ、かつ③現代社会が抱える応用倫理的諸問題を概観したうえで、④生命倫理の全体像・具体的諸相・現実的諸問題を体系的論理的に考究していく。</p> <p>終盤の第13～15回には、Active Learningを行う。</p> <p>【①Group Power Point発表、②Group Debate、③Total Discussion】という三形態を用意している。Exciting & thrillingな3回となろう、お楽しみに。</p>				
授業形式・方法	<input checked="" type="checkbox"/> 対面授業 <input checked="" type="checkbox"/> 講義 <input type="checkbox"/> 演習 <input checked="" type="checkbox"/> PBL <input checked="" type="checkbox"/> 反転授業 <input checked="" type="checkbox"/> ディスカッション・ディベート <input type="checkbox"/> 遠隔授業(双方向型) <input type="checkbox"/> 実習 <input type="checkbox"/> 実技 <input checked="" type="checkbox"/> グループワーク <input checked="" type="checkbox"/> プレゼンテーション <input type="checkbox"/> 実習・フィールドワーク <input type="checkbox"/> 遠隔授業(自主学習) <input type="checkbox"/> その他 ()				
学習上の助言	<p>1. 国内外の応用倫理・生命倫理上の諸問題に広く関心を持ち、積極的に調べ感じ考えてみる。</p> <p>2. 毎回の授業で用いる Power Point 資料を事前に up する予定である。あらかじめ目を通していただくことを勧める。</p>				
教科書	使用しない。				
参考書	授業中に適宜紹介する。				
外部教材	特になし。				
学生が達成すべき行動目標			関連卒業認定・学位授与方針		
①	人間論・倫理学について、基本的な事項を説明することができる。		HSU(1)(2)(5),NS(1)(5)		
②	現代における応用倫理的諸問題について、さまざまな角度から調査・考察できる。		HSU(1)(2)(5)(6),NS(1)(5)		
③	特に生命倫理の全体像・諸相・諸問題について、体系的に説明することができる。		HSU(1)(3)(5)(6),NS(1)(3)		
④	生命倫理等に関し、受講生同士でさまざまに発表・対論・討論することができる。		HSU(1)(4)(6),NS(1)(2)(4)		
授 業 計 画					
回	学習内容等	授業方法	学習課題・学習時間(時間)		
1	科目の Guidance. 人間を学ぶ1(物質の展開、文化の過剰性)。	講義	課題は授業前に配信される。 授業後に取り組み提出する。	4	
2	人間を学ぶ2(人類の地歴的展開、現代)。	講義	課題は授業前に配信される。 授業後に取り組み提出する。	4	
3	倫理を学ぶ1(義務論、帰結主義)。	講義	課題は授業前に配信される。 授業後に取り組み提出する。	4	
4	倫理を学ぶ2(徳論、応用倫理学)。	講義	課題は授業前に配信される。 授業後に取り組み提出する。	4	
5	現代経済倫理を学ぶ(企業倫理、地球倫理)。	講義	課題は授業前に配信される。 授業後に取り組み提出する。	4	
6	現代国家倫理を学ぶ(政府倫理、世界倫理)。	講義	課題は授業前に配信される。 授業後に取り組み提出する。	4	
7	現代意識倫理を学ぶ(科学倫理、存在倫理)。	講義	課題は授業前に配信される。 授業後に取り組み提出する。	4	
8	生命倫理を学ぶ1(全体像：四原則等)。	講義	課題は授業前に配信される。 授業後に取り組み提出する。	4	
9	生命倫理を学ぶ2(産む産まれる：中絶等)。	講義	課題は授業前に配信される。 授業後に取り組み提出する。	4	
10	生命倫理を学ぶ3(生きる：再生医療等)。	講義	課題は授業前に配信される。 授業後に取り組み提出する。	4	
11	生命倫理を学ぶ4(死ぬ：安楽死等)。	講義	課題は授業前に配信される。 授業後に取り組み提出する。	4	
12	Active Learning (AL) のための Guidance.	講義	課題は授業前に配信される。 授業後に取り組み提出する。	4	

【総合基礎科目領域/共通基礎科目群】

13	AL1：受講生による Group Power Point 発表。	発表	指定課題に取り組む。	4			
14	AL2：受講生による Group Debate.	対論	指定課題に取り組む。	4			
15	AL3：受講生による Total Discussion、まとめ。	討論・講義	指定課題に取り組む。	4			
試	期末 Report.						
達成度評価							
総合評価割合 (%)		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	合計
		0	30	40	0	30	100
総合力指標	知識・技術力	0	10	0	0	0	10
	思考・推論・創造する力	0	10	0	0	10	20
	協調性・リーダーシップ	0	0	10	0	0	10
	発表・表現伝達する力	0	0	10	0	0	10
	コミュニケーション力	0	0	10	0	0	10
	取組みの姿勢・意欲	0	0	0	0	10	10
問題を発見・解決する力	0	10	10	0	10	30	
評価のポイント							
評価方法	行動目標	評価の実施方法及び注意点				フィードバックの方法	
試験	①						
	②						
	③						
	④						
レポート	①	✓	期末 Report を評価する。 着眼点、ならびに調査・考察の質量等に着目する。				Comment を付け、返送する。
	②	✓					
	③	✓					
	④						
成果発表	①	✓	受講生による [①Group Power Point 作成・発表・質疑応答、 ②Group Debate、③Total Discussion] を評価する。 着眼点、ならびに調査・考察・発表・発言の質量等に着目する。				Comment を付け、結果を公表する。
	②	✓					
	③	✓					
	④	✓					
ポートフォリオ	①						
	②						
	③						
	④						
その他	①	✓	毎回提出する課題を評価する。 調査・考察の質量等に着目する。				Comment を付け、返送する。
	②	✓					
	③	✓					
	④						
備 考							
他担当教員	なし						
教員の実務経験	なし						
実践的授業の内容	なし						
そ の 他	<p>1. 授業は教室対面方式であるが、課題は Teams を用いて提示・回収・返却する予定である。 念のため通信容量無制限の Wi-Fi 環境の確保を勧める。</p> <p>2. 授業進度等によっては、シラバスの変更もありうる。その場合には事前に告知する。</p>						